

## 五輪へ外国語の習得はいかが？

先月、東京オリンピック・パラリンピックのための「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」に出席しました。会場は八王子市にある労政会館の会議室。主催は東京都で参加者は24人ピタリ。二人一組になり外国人とボランティアという関係になって会話実践をすとの狙い。5回の講座のうち私は1回遅刻。その日の出席者数は奇数で、相手のいない私は講座運営担当の美しい女性が相手になってくれる、という幸運にも巡り合ったのでした。

男性の大部分は自分のように定年後で時間があり外国語もある程度やってきたと思われる人、女性はヤングレディからシニア世代の主婦と思われる人が多く、講師は前半はアメリカに留学し現地で仕事をしてきたという若い男性、後半はオーストラリア人の英語講師で元気はつらつの若い女性で講義はすべて英語でした。

五輪を4年後に控えた分も抽選に2回外れようた次第。聞くところによれども相当な応募者数で第1回目の講座は40倍

講座の狙いは、競技場をする、といったものではなく人をサポートするボランティアから、必ずしも語学がの精神さえしっかり身にたしているといったものなのです。



今、講座には人気があり、自やく3回目にして合格といっば、都内で計四つの会場の抽選になっている。八王子のだったといひます。

や海外からの選手をアテンドく、あくまでも街で訪れた外国イア、といったところです。で完ぺきに近くできなくても、そ着けていれば必要条件を満

例えばペアによる練習ではこんな例題が：(Work in pairs)

You are at Asakusa Station. A tourist will ask you for directions. Give directions using the map in class. 浅草駅にいるあなたは旅行者に道を尋ねられます。地図を使って道案内しましょう。

Tourist: How do I get to Kaminarimon?

Volunteer: Kaminarimon? No problem. Go straight. It's on the right.

といったような……

誰もが身近にできるのが来日する外国人への「おもてなし」。語学ができなくてもそれなりの対応ができると思いますが、会話ができるようになり、外国人に接することで、思わぬ楽しい展開が待っているかもしれません。この際、意欲のある方は外国語に挑戦してみてください。これから4年もあれば努力次第できっとある程度の会話力は身につくでしょう。

私は現在、地元市が主催する高齢者向けの英会話教室の講師を務めていますが、受講する60代～80代の皆さんもとても元気で熱心です。五輪開催の時が一つの希望になっているのです。私自身も大会の会場や選手対応のボランティア通訳を目指し、毎年TOEICを受験してレベルアップに励んでいるところです。今年はさっそく今月13日(日)がその試験日です。